

一言ご挨拶を申し上げます。

本日、松江市と東出雲町の合併が成り、このように盛大に記念式典が開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられた皆様には、誠におめでとうございます。心より感謝申し上げます。

松江市・東出雲町におかれましては、平成21年以降、精力的に合併の議論を進められ、市長、町長をはじめ、皆様のご尽力により、合併が成った訳であり、関係の皆様のご努力に対して、心から敬意を表する次第であります。

また、この合併を先頭に立って推進され、昨年12月に急逝された鞍嶋弘明 前東出雲町長のご労苦に対しまして、改めて敬意を表する次第であります。

近年、地域の諸課題が高度化・多様化する中、住民の皆様にとりまして最も身近な自治体である市町村が果たす役割は益々大きく、重要になってきております。特に、東日本大震災以降は、住民の安全・安心確保に向け、新たな課題も沢山出てきております。

こうした中、合併により、松江市は山陰最大の都市となり、特例市への移行も目指しておられるところであります。行財政基盤が強化され、住民の皆様に対する行政サービスを安定的に提供され、地域がその魅力を一層発揮し、市全体の活性化がさらに図られることをご期待申し上げます。

県としましても、松江市における新たなまちづくりに向け、財政支援や情報提供など、組織を挙げてご協力申し上げます。そして、原発の防災対策や大橋川改修事業をはじめ、住民の皆様のくらしや安全・安心に関わる重要な課題につきまして、引き続き松江市と緊密な連携を図っていく考えでありますので、宜しくお願い申し上げます。

終わりに、松江市の更なる発展と、市民の皆様の益々のご健勝・ご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。